資料３

評価結果反映報告書

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの 2019 年度業務実績評価結果および第三期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績評価結果の主要な反映状況

評価項目	評価における主な指摘事項	2020 年度の業務運営等への反映状況
2019 年度業務実績評価 全体評価	今後、中小企業の製品化・事業化支援に一層取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、非接触等新しいニーズに対応した支援の実施が望まれる。	オンラインでのセミナー開催や、試験品の配送受入・報告書の郵送による依頼試験を継続的に実施したほか、 ・クロスミーティングのオンライン開催 ・支所施設のバーチャル見学会の実施 ・オンライン展示会等への出展 ・YouTube による動画配信の強化 ・Web 会議システムによる技術相談の準備 等に取り組んだ。 また、3D ものづくりセクターやオーダーメード開発支援等を通じて、中小企業の新型コロナウイルス感染症対策製品の短期間での試作・開発を支援した。
2019 年度業務実績評価 全体評価	都産技研の経営管理に関する包括外部監査の指摘等を踏まえて、業務運営における改善については速やかに着手することが望まれる。	包括外部監査の結果（指摘 6 件、意見 14 件）に基づき策定した改善計画について、四半期ごとに所内のコンプライアンス委員会において進捗状況の確認を行い、速やかな改善を図った。 また、指摘事項のうち、薬品関連業務は内部監査、安全点検及び監事監査の監査テーマとしても実施し、改善に取り組んだ。

評価項目	評価における主な指摘事項	2020年度の業務運営等への反映状況
第三期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績評価 全体評価	新型コロナウイルス感染症を契機として都産技研のデジタル化を進めるとともに、新たな需要獲得に向けた中小企業の取組を支援することを望む。	都産技研のデジタル化については、Web 会議システムやテレワークシステムを導入し、業務のデジタル化・オンライン化を図った。 また、第四期中期目標期間に向けて、デジタル化推進室準備プロジェクトチームを立ち上げ、都産技研がデジタル化を進める上での課題や問題点を洗い出すともに、都産技研のデジタルトランスフォーメーションを推進するためのインフラとして、職員用スマートフォンの調達を行った。 新たな需要獲得に向けた中小企業の取組の支援については、中小企業の 5G・IoT・ロボット普及促進事業において、5G技術の普及啓発や中小企業による IoT、ロボットなど先端技術の社会実装を支援するための支援拠点「DX 推進センター」を新たに開設し、公募型共同研究等を通して中小企業のビジネス創出支援に取り組んだ。
第三期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績評価 全体評価	法人の業務等に係る監査の指摘等を踏まえて、業務運営における改善を実施し、職員のコンプライアンス推進等に確実に取り組むことを期待する。	包括外部監査の結果（指摘6件、意見14件）に基づき策定した改善計画について、四半期ごとに所内のコンプライアンス委員会において進捗状況の確認を行い、速やかな改善を図った。 また、指摘事項のうち、薬品関連業務は内部監査、安全点検及び監事監査の監査テーマとしても実施し、改善に取り組んだ。